

# APNIC42 レポート



資料中の写真はAPNICのflickrページから  
<https://www.flickr.com/photos/apnic/albums/72157673468915022>

# 開催概要

- 日時：2016年9月28日～10月5日
- 会場：
  - Hilton Colombo (スリランカ コロンボ)
- 参加者数：39経済圏 332名
  - (参考)前回APNIC41：53経済圏 531名
- リモート：Adobe(131), Youtube(1414)

# 今回の特徴

- 会場がダッカ（バングラデシュ）から変更
- AP地域内の様々な団体の集まる場へ
  - APStar, APIX, FIRST
- アドレスポリシー提案の議論は1点
  - 提案以外にもWhoisの正確性向上に向けた取り組みに関するセッションが設けられた

# プログラムの構成

<https://conference.apnic.net/42/program>

- それぞれの組織・機関により企画されたプログラムを開催
  - APIX, APStar, APNIC, FIRST TC
- セッションの構成
  - SIG - Policy, NIR, Cooperation
  - チュートリアル
  - テーマ別セッション
  - BoF

# プログラム①

- 資源管理に関わるセッション
  - AMM (APNIC Member Meeting)
  - APNIC Services
  - APNIC Survey Report
  - NIR SIG
  - Address Policy SIG
- インターネットガバナンス関連
  - Cooperation SIG

# プログラム②

- 技術関連のセッション
  - IPv6 Readiness Measurement BoF
  - Network performance
  - DNS and INR Security
  - Lightning Talks など
- その他
  - APNIC Foundation BoF
  - Fellow BoF



発表風景(JPRS藤原氏)

# NIR SIG

- NIRスタッフの参加が中心
  - JPNIC, CNNIC, KISA(KRNIC), TWNIC, VNNIC, APJII(インドネシア), NIXI(インド)
- 各NIRからは以下の内容を報告
  - 統計情報
  - IPv6関連の活動
  - その他トピック



発表者集合写真  
(左からTW, JP, KR, IN, Chair, ID, CN, VN)

# Cooperation SIG

- 以下について情報共有、議論を行った
  - Asia Pacific Internet Governance Academy
  - IGF2016
  - IANA transition
  - ISOC\_LK & IGF\_LK Report
  - Pacific Update



発表風景(JPNIC奥谷)

# Policy SIGでの議論

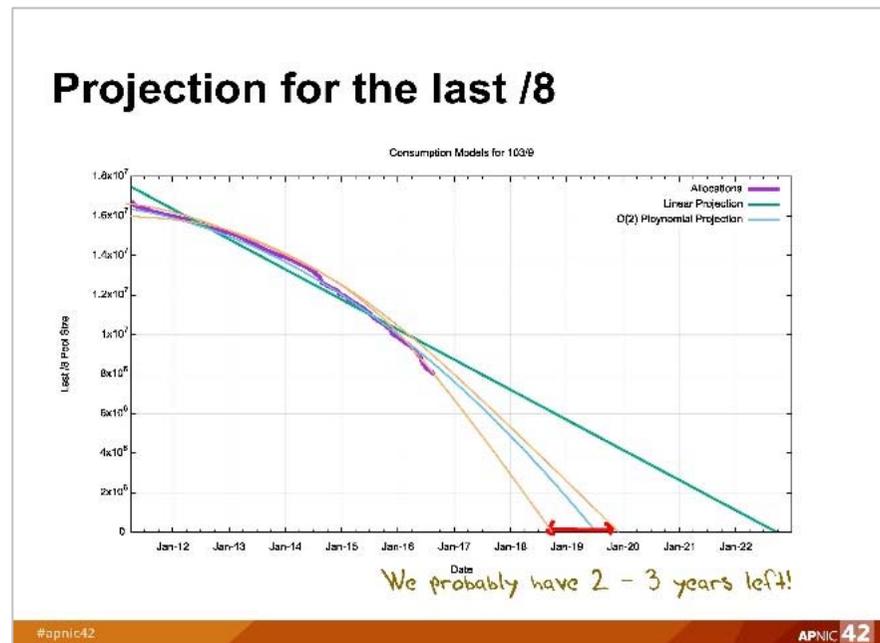
- 以下について情報共有、議論を行った
  - 最後の/8ブロックの移転禁止提案(prop-116)
  - WHOISデータベースに登録されたデータの正確性向上に向けた取り組み



提案内容を説明する藤崎氏

# トピック：未割り振りIPv4アドレスの配布

- APNIC最後の/8在庫(103/8)
  - Geoff Huston氏(APNIC) が2019年中盤には枯渇予測
  - An update on IPv4 Addresses
    - [http://cgi1.apnic.net/conference\\_data/files/APSr107/an-update-on-ipv4-addresses.pdf](http://cgi1.apnic.net/conference_data/files/APSr107/an-update-on-ipv4-addresses.pdf)



▲APNIC42での発表資料から

# 最後の/8ブロックの移転禁止提案①

- 背景

- 最後の/8アドレスブロックからの移転やM&A等により複数のレンジを保持する組織が出現している

- 提案内容

- 最後の/8アドレスブロックからの移転を禁止する
- M&Aに伴う移転の場合、保持できる最後の/8アドレスブロック内のアドレスの上限を/22とし、それを超えるアドレスはAPNICに返却する

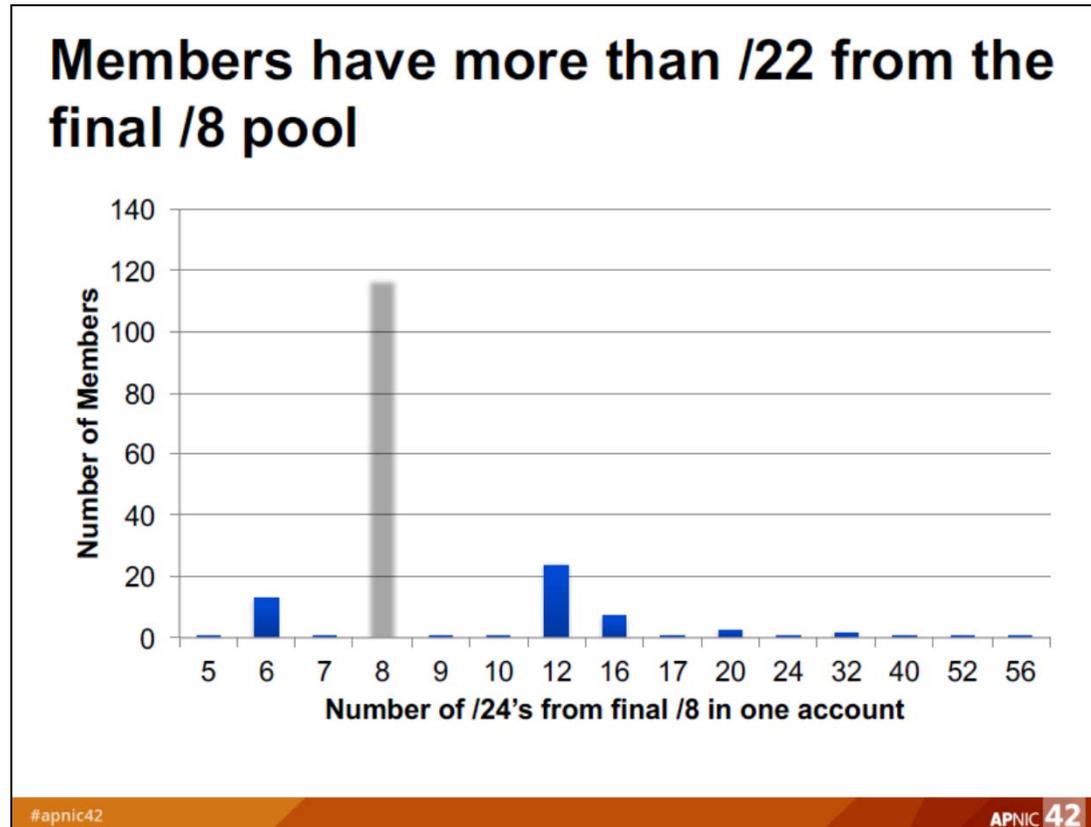
# 最後の/8ブロックの移転禁止提案②

## ● 背景

ポリシー	内容	割り振りサイズ	審査基準
最後の/8からの割り振り (prop-055)	新しいLIRのサービス用、 既存LIRのIPv6移行用 として割り振り	/24~/22	あり
返却アドレスの再割り振り (prop-088)	同上	同上	あり
アドレス移転 (prop-050) (prop-095)	アドレスを保持する組織 から必要としている組織 への移転	/24以上	あり (prop-096) (prop-104)
M&A	アドレスを保持している組 織の吸収合併等	制限なし	明確な基準は ない

# 最後の/8ブロックの移転禁止提案③

## ● 背景



アドレス移転やM&Aにより、最後の/8から多数のアドレスを保持している単一組織が存在

出典：[http://cgi1.apnic.net/conference\\_data/files/APSr107/ipv4-transfer-report.pdf](http://cgi1.apnic.net/conference_data/files/APSr107/ipv4-transfer-report.pdf)

# 最後の/8ブロックの移転禁止提案④

## ● 結果

- コンセンサスに至らず、MLでの継続議論へ

## ● 会場からの意見

- 本来のLast /8割り振りの趣旨を尊重する提案でIPv6の普及を促進する

- whoisの正確性が毀損される可能性がある
- Last /8だけ移転できないのは不公平
- 保持アドレスはM&Aの際の重要な評価基準である
- 提案のポリシーでは移転・M&Aを防ぐには不十分

# WHOISの正確性向上①

- 背景

- APNIC41でも取り上げられMLでの継続議論となったWhoisの正確性向上への取り組みであるが、議論が止まってしまっており再度必要性のアピールと不正確な登録が犯罪に利用された実例が紹介が行われた

# WHOISの正確性向上②

- 内容

- APNICより、不正確なコンタクト情報に関する問い合わせが月間100件を超え増加していることが報告された。
- スリランカ警察及びFBIより、Whoisはサイバー犯罪捜査の第一歩でありその正確性は安全な社会に大きく寄与すること、また不正確で長期間登録の変更がないアドレスレンジをハイジャックしSPAM犯罪が実行された実例が紹介された。

# 各種選挙



## ● NRO NC -- Ajay Kumar氏(インド)の任期満了に伴う選挙

- 2017年1月からの新体制は以下の通り
  - Brajesh Jain氏(インド) ※今回当選
  - 藤崎 智宏氏(日本)
  - APNIC理事会の指名するメンバー(未発表)



## ● NIR SIG -- 空席となっているChairを決めるための選挙

- APNIC42以降の新体制は以下の通り
  - Chair : Shyam Nair氏(インド) ※今回当選
  - Co-chair :
    - Ajai Kumar (インド/NIXI)
    - Zhen Yu(中国/CNNIC)



# 次回以降のAPNICミーティング

<https://conference.apnic.net/>

- APNIC43/APRICOT2017
  - 2017年2月20日～3月2日
    - ホーチミン（ベトナム）
- APNIC44
  - 2017年9月7日～14日
    - 台中（台湾）
- APNIC45/APRICOT2018
  - 2018年春(2月～3月)
    - カトマンズ(ネパール)

# 参考リンク

- APNIC42 Webページ(動画・資料)
  - <https://conference.apnic.net/42/>
- アドレスポリシー提案一覧
  - <https://www.apnic.net/community/policy/proposals>
- JPNICメールマガジン
  - 全体概要およびアドレスポリシー関連報告
    - <https://www.nic.ad.jp/ja/mailmagazine/backnumber/2016/vol1442.html>
  - 技術動向報告
    - <https://www.nic.ad.jp/ja/mailmagazine/backnumber/2016/vol1444.html>